

授業での活用（実践報告例）

【 社 会 科 】

1) 使用機器・使用ソフト

- ・ i 地球儀（350 円）
- ・ Google Eearth
- ・ Google Maps
- ・ スーパー地形
- ・ やまやま GPS(以上 iPad 用アプリ)
- ・ やまログ
- ・ map（以上 iPhone アプリ）
- ・ iPad（学校用） iPhone(筆者私用)
- ・ 電子黒板

2) 使用状況

学年	学科	科目	週あたりの使用率 (使用時間数/授業時数)
本 2	普通科	地理B	2 / 2

3) 使用例および生徒の反応

- ・（学校用の）iPad 上の地球儀ソフトや GoogleEarth を電子黒板に表示して説明に使用。
→平面の地図よりも立体的なイメージ(たとえば南米は日本から見て地球の裏側にある等)が作りやすい
- ・ Google Maps や iPad 標準搭載の「マップ」はピンチインし続けることで普通の日本地図として使え、さらにピンチインすると GoogleEarth のように衛星画像の地球にならず、メルカトル図法の世界地図として使える。
- ・ 地理の「地形図」の単元で「等高線」や地図記号を教える場合、国土地理院の地図と連動している地図アプリ（スーパー地形、やまやま GPS 等や iPhone の map、やまログ等）が便利である。



↑ GoogleMaps をメルカトル図法の世界地図に

↑ 等高線の入った地形図アプリで学習
(これは iPhone アプリの map)

4) 今後の展望（来年度に向けての工夫等）

- ・ スマートフォンやタブレットの GPS 機能の活用は、すでに生徒たちの生活の中に入ってきており、アプリケーションもどんどん進化している。ゲームに興じるだけでなく主体的にそれらを活用する力を養うことも地理の学習の重要な目標となってくるだろう。
- ・ 電子黒板機能を利用することで、従来表示するだけだったものにカラフルな板書やアンダーラインを加えることができ、授業の仕方も変わりつつある。今後さらに他の機能を使いこなせるように工夫、研究していきたい。また iPad を使って生徒の自発的な学習活動が展開できるようにしていきたい。